

令和5年度 大阪府立野崎高等学校 第1回学校運営協議会議事録

開催日時	令和5年7月20日(木) 15:30～17:00
開催場所	野崎高校会議室
出席者(委員)	中嶋会長、山崎副会長、尾崎委員、梅本委員、松田委員
事務局	田中校長、勝村教頭、西田教頭、伊丹事務長、森本首席、宮脇首席、松浦教務主任、西本生徒指導主事、田辺人権主担
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度 学校経営計画及び学校評価・令和5年度 学校経営計画及び学校評価・スクールミッション、スクールポリシー・令和6年度 使用教科書一覧表・野崎高校3年間のキャリア教育・令和4年度 生徒支援部総括・野崎高校 生徒の困り感に寄り添う 校内セーフティネット・人権だより (VOL1～4)・令和5年度 教務管理部(総務) 重点目標

備考

議題等(次第順)

- ①令和4年度学校経営計画及び学校評価について
- ②令和5年度学校経営計画について
- ③スクールミッション・スクールポリシーについて
- ④令和6年度教科書採択について
- ⑤進路指導の状況について
- ⑥生徒支援の状況について
- ⑦人権教育の状況について
- ⑧広報活動について
- ⑨その他

協議内容・承認事項等（意見の概要）

①令和4年度学校経営計画及び学校評価について

【事務局より】

- ・令和4年度第3回学校運営協議会で報告済み。その際にいただいた意見を加筆。
- ・生徒の指導において、教員の人数不足を痛感。
- ・高等学校の再編整備について、令和5年度に茨田高等学校との機能統合を実施済み。野崎高等学校の学校名は存続維持を確認。

②令和5年度学校経営計画について

【事務局より】

- ・高大連携において、大阪産業大学との連携協定を締結。全8学科3名ずつ、全24枠の特別指定校推薦枠をいただいた。
- ・令和5年度 学校経営計画および学校評価の2 すべての生徒が安全・安心に生活できる学校づくり（2）について、「カウンセリングマインドを持って行い」を加筆修正。
- ・令和5年度 学校経営計画および学校評価の3 （2）ウ「近隣の中学校と「合同部活動」を実施し、本校生徒及び教職員の魅力を発信する」を加筆。

《委員より》

- ・広報としてアピールできる部活は何か。
 - ↳バスケットボール部、サッカー部、バレーボール部など
- ・中学校との連携において具体的にはどうするのか。
 - ↳将来的には、中学生を招いての学校のアピールと、教員の働き方改革を行う。

《委員より》

- ・探究教育とはどのようなものか
 - ↳教科横断型の授業であり、コミュニケーション力の育成を主な目標にしている。
 - ↳人権教育を通して、他者理解能力を育成
 - ↳コミュニケーションワークを実施し、自己理解能力の育成から他者理解能力の育成につなげる。

③スクールミッション・スクールポリシーについて

【事務局より】

- ・設置者案は承認され、学校HPに掲載
 - スクールポリシー内、アドミッションポリシーについては”規範意識”を削除し、”自らの意志で”に修正。

④令和6年度教科書採択について

委員に報告。

→承認

⑤進路指導の状況について

【事務局より】

- ・キャリア教育を強化
- ・7月より就職活動が開始、今年度の求人票の数を報告（大幅に増加している）
- ・今年より求人票の閲覧をデータ化しICTを活用
- ・昨年度、進学・就職希望数増加・未定数減少

《委員より》

- ・進路未定者が減った要因は何か。
↳個々を大切にす継続的な指導を行った。
- ・経済的に余裕のない家庭の生徒が（指定校推薦などで）進学する際、安易に奨学金に頼り、将来大きい負担を抱えたままで社会に出るとい状況はないか。
↳経済的に困難で奨学金を利用している生徒は多い。一方で経済的に余裕があっても大学へ進学できない生徒もいる。指定校推薦枠の増加は、生徒の進路先の選択肢を増やすことにつながる。

⑥生徒支援の状況について

【事務局より】

- ・遅刻者数や欠席者数を報告
- ・月間遅刻指導について、早朝登校を取り入れ前向きに学校に登校できるよう指導内容を変更した。
- ・校外での部活動を活発化。

【事務局より】

- ・校内セーフティネットを作成。
- ・入学前より、中学校へ訪問し生徒の状況を把握。
- ・日頃より生徒と深く関わり、生徒の困り感を把握。
- ・SC、SSWを活用し、学校生活を送ることが困難な生徒への支援を実施。
- ・学習面においては個別に指導計画を作成し、個々に合わせた支援を実施。

《委員より》

- ・遅刻が多いと朝の授業の欠席が増えてしまう。1時間めはどのような授業か。何か工夫をしていることはあるか。
↳欠課時数に偏りが生じないように、1時間めに同じ科目の授業が入らないよう配慮している。

《委員より》

- ・遅刻者数はクラスの人数を示したうえで提示していただきたい。
- ・遅刻者の減少に向けて学校に行きたくなる授業等、何か対策が必要なのではないか。
↳次回から、生徒数を入れた資料とさせていただく。
本校の方針として学校を居心地のいい場所にするということを目指している。

⑦人権教育の状況について

【事務局より】

- ・年4回、外部の講師を招き、人権教育を行っている。
- ・北条地区、四条地区と連携し人権について理解を深める指導を行っている。

⑧広報活動について

【事務局より】

- ・チャレンジ野崎を含め、校内での説明会を年4回実施
- ・ICTを活用した広報活動を実施
- ・他校との魅力の差別化を図りたい

⑨その他の意見・協議

《委員より》

- ・大東市教育長と野崎高校の生徒会メンバーとの意見交流会をフェイスブックで知った。
- ・このような活動も、どんどん活発にしてもらえたらよい。

《委員より》

- ・遅刻対策は、先生方だけの対策では難しいのではないか。家庭環境の影響も大きい。
- ・遅刻しても「よく来たな」と言ってもらえる。そのような支援体制は良い。

次回の会議日程

日時 令和5年12月上旬 詳細は決まり次第ご連絡いたします。
会場 大阪府立野崎高等学校 会議室